



# 奥村りょう

おくむら

## —奥村りょう経歴—

- 1980年 木戸町生まれ
- 1983年 南花台に転居
- 1993年 河内長野市立南花台東小学校卒業
- 1996年 河内長野市立南花台中学校卒業
- 1999年 大阪府立長野高等学校卒業
- 2003年 大阪産業大学経済学部卒業  
総合物流会社入社
- 2015年 大阪市立大学大学院 修士課程 修了  
(創造都市研究科 都市ビジネス専攻)
- 2017年 14年間勤めた会社を退社し政治へ
- 2018年 河内長野市議会議員 初当選
- 2022年 河内長野市議会議員選挙2期目当選
- 2023年 第72代副議長
- 2024年 総務福祉教育常任委員会 委員長

### 「政治家への道」

男兄弟3人の長男として、共働きの両親と5人家族で暮らす。教育者であった両親に厳しく育てられるが、中学校の成績は、、、。ただ、持ち前の行動力で社会人大学院に行き河内長野市の危機を知り政治の道に立ち上がる。



目指すは、**子育て先進都市**  
※Jクレジットの活用により、米価で暮らせる新しい河内長野へ

## 6歳児の双子のパパ「奥村りょうさんってどんな人だろう？」街中をインタビューしてきました!



奥村さんの魅力は、何といっても周囲を明るくする太陽のような笑顔と、損得抜きで動く行動力だと思います。特に子育て世代への支援として、自ら市内の公園を巡り、撮影してGoogleマップ等で情報発信する活動を一緒にさせていただきました。時には自ら遊具に挑戦し、笑いを提供するような飾らない人柄も奥村さんならではの魅力です。自分の子どもに、「この街は良いところだね」と言ってもらいたい——その一心で動く奥村さん。その誠実な姿勢と温かな眼差しが、河内長野の未来をより明るくしてくれると思います。【40代女性】



地元のボランティア活動を通じて知り合って20年以上になりますが、まったく変わらない人柄です。ある日、「Jクレジットって知ってる?」との話題になり、奥村さんが“河内長野でもできるんじゃないか”と言った一言が、いま実際に市の政策として動き出し形になっています。どんな小さな声でも真剣に受け止め、動き、結果につなげていく。そのひたむきさと実現力こそ、奥村さんの一番の魅力だと感じています。【40代男性】

※Jクレジットってなに?  
森林整備などで生まれるCO2削減量を“価値”として国が認め、企業が購入できる制度。自治体にとっては、森林保全と新たな財源づくりにつながる仕組みです。

現在、子育て世帯にももの凄く好評を得ている河内長野市と大阪府による「食費支援制度」は対象となるほぼ全ての市民の方が知っている事と思いますが、その「知るきっかけ」を作ったのが奥村市議なのはご存じでしょうか?

毎回、制度が始まる前に対象となる全ての子ども達にお知らせのチラシが配られるのですが、奥村市議は、私達米屋が用意するこのチラシを全ての子どもたちに行き渡る様に、行政だけでなく教育機関等あらゆる所に話・交渉をして下さいます。

この全ての子ども達・子育て世代の助けとなる取り組みは、2023年の開始から現在では河内長野市内だけでなく富田林市や大阪狭山市、千早赤阪村といった南河内へと広がっていて更に拡大している状況です。

「食費支援制度」が始まった最初の時は、チラシが子供たちに配られるのかわかりませんでした。そこで、奥村さんに相談した所、私達(米屋)が用意するチラシを全ての子供たちにいき渡る様に、行政だけでなく教育機関等あらゆる所に交渉して下さり対象者の皆様に届けることができました。また、この取組は河内長野市に留まらず、富田林市や大阪狭山市、千早赤阪村などに拡大しています。  
(40代米店男性)

南花台で出会った好青年! 出会って素晴らしい! 4年前、私が自治会の役員になった年に、初めて奥村さんと出会いました。場所は夏祭りの準備で校庭の整理をしていた時のこと。黙々と作業に取り組む姿がとても印象的でした。

そして今年、再び自治会役員としてご一緒することになり、多くの時間を共有しました。奥村さんの発想力・決断力・行動力にはいつも感心させられ、久しぶりに若い刺激をいただきました。会議では、まとめ役としての的確に場を仕切り、安心して多くのことをお任せできました。議会で培われた経験を活かしつつも、決して強引に事を進めることなく、一歩引いて周囲をフォローする姿勢がとても印象的でした。面倒見がよく、誠実で信頼できる好青年に出会えたことを、南花台自治会の一員として心からうれしく思います。(南花台自治会役員)

